



【相可佐代子（おおかさよこ）】
声楽コース（メゾソプラノ）准教授

名古屋音楽大学声楽科卒業、同大学院修了。2001年パリ市立シャトレ劇場研修生として渡仏。同劇場においてお雇の歌曲リサイタル、パリ・アテネ劇場やミッテルベルクハイム音楽祭に出演。パリエコールノルマル音楽院よりベスティギ、ルーセル奨学金を受け研鑽、同音楽院高等演奏家ディプロムを審査員満場一致で取得。帰国後も『カルメン』（タイトルロール）、『ナクソス島のアリアドネ』（作曲家）、『ウェルテル』（シャルロット）、『ホフマン物語』（ニクラウス）、倭歌劇『G E N J I』（紫式部）、『御柱』（オカン）など多数のオペラに出演。ベートーヴェン『交響曲第九番』『ミサ・ソレムニス』、マーラー『交響曲第三番』、モーツアルト、ヴエルディ『レクイエム』他、多数のソリストも務める。

日本各地での演奏活動をはじめ、京都市立芸術大学、名古屋音楽大学、愛知県立芸術大学各講師として後進の指導にもあたる。

NHK-FM『名曲リサイタル』出演。津市文化奨励賞受賞。ソロリサイタルにおいて名古屋音楽ペンクラブ賞、名古屋市民芸術祭受賞。CBC クラブ会員。